

印刷用インキ

石版用ルーラ
製造販賣所
京城古市町(舊使所跡)
荊川商店
漁具各種卸小賣
仁川海岸町三丁目
荊川漁具店
電話七五四番
振替京城一七六七番

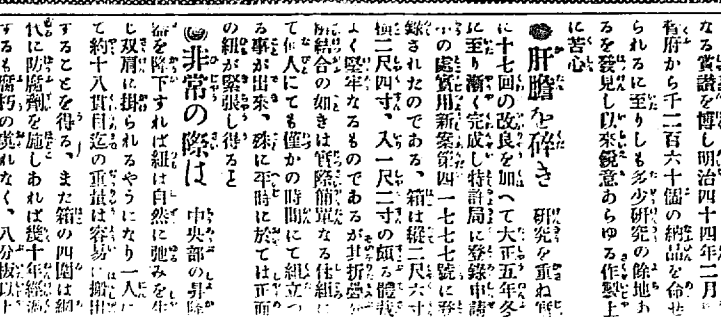
東京市日本橋區坂本町十八
 番三丁目三番三號
 電話三三二五五五八
 五九三
 信發信略號(キリコ)又は(キキ)

受領略號トウクイヤマボツキ
 信發信略號(キリコ)又は(キキ)

漢城
 各種
 袋
 口
 源

二國商業家各位にし
 今到る處で飛ぶが
 く賣行き煙草專賣
 法に抵觸せず最も
 安全に賣れる
 今頃全國で大評判に
 今日直ぐ專賣元に
 申込みて
 益を得られよ

商會
 番六四

[illegible]

版インキ
用ル
ー
ラ

製造販賣所
京城古市町(前郵便所跡)
荊川商店
漁具各種 卸小賣
仁川舟碇町三丁目角
荊川漁具店
電話七五四番
振替京城一七六七番
近隔地に於ける定期取引は危險
の時勢に於ける
本邦幣金位の額で立派に現貨
を賣出せる
現貨買賣は安全確固なる實業也
殊に輸入用の御方には格段
の優待を
對て世間的平和戰術、營業案內
電信略語表御申付次第呈呈す
本桐生屋株式會社
東京日本橋區本町十八
番二丁目二番一五八番

漢城商會
 東京府旭町一ノ二
 各種袋
 箱空箱
 材料包
 大急告

く賣行き煙草專賣
法に抵觸せず最も
安全に賣れる
全國で大評判
今日直ぐ專賣元に
申込みて
益を得られよ
政府
國貨院

[illegible]

顔面の美を保つ爲めには赤ん坊の時から注意が要る。

ところが今日の兒童保護の役に在る方は、全く此處の知識と注意を缺いて、私共の爲よる所のものを益々助長させて行かれるやうであり、例へば大抵の干供と云ふものは、よく指を匿へますが、それは危険なことであつてゐるものです。干供の指は乾度不潔となつてゐるもので、第一、

齒と齒齦の上を爪垢の軟い齒垢子でこすることは大變いこととてさして、それで今日では「清潔な齒は決して齧齦にならぬ」といふことだが、齧のやうにならぬと云ふ清潔な齒と申しまゝには、食片の殘つてゐない唾石の法着してゐない齒のことくが宜しうございます。堅に磨くと云ふのは齒の根の方から齒の頭の方に向つて齒垢子を走らせるのであります。若しそれを逆に使ひますと、齧性細菌と云つたやうなものを齒齧の遊離線下に擦り込むことになつて却つて齧を弱しやうになります。

どうしても避けなければならぬ大事な注意は、齒醫者が不正咬合と名付けらるもので、口を開かれどきいものがあつますが、さうなるで、食物を十分満足に噛みこなすことが出来ないであります。

その「不正咬合」の主な原因は、

[illegible]


慣に露
 粉や粉の多
 いものを
 喰べる
 とは、
 消

下の
 田子

2

2
 これが
 消

さういふ場合には、突き出した顎に
 なります。下顎と下歯は上歯よりも
 突出たり、又は「栗鼠」(出歯
 の事)と云つて、上歯が何本も下歯
 より突出したりします。
 一つ赤ん坊を「栗鼠」にする
 原因は、赤ん坊が短えす指をしやぶ
 るのを利口さうに見えろと思つて削
 してゐるからである。



元來齒を磨く目的は、其表面を清潔の洗者物を除く爲でありますが、齒磨子は音に歯の表面を擦磨に見せられてなく、垢垢を除く爲のものですから、潔

であります。

それで、どんなお子さんにでも正齒や、反齒を持たせてはなりません。是等の缺點は精神が咀嚼力の上に大なる影響のあるといふことが、今日ではわかつて参りました。歯が醜くなる爲めに常に煩悶したり苦しんだりするものですから、さう云ふことにならぬ初に於て、早く治療するが必要であります。

んが、いろいろの

歯の顎上

を歯長

が早ければ、さうならないうちに防ぐことも出来るのであります。

でもありますから、子供は一歳位から年に二度程は、定まつて歯醫者に行くこととして、診察して貰へば、齲蝕を防ぐことが出来まゝし、入重歯だの、又は汚れて行く歯だのを防ぐことも出来ます。

永久歯は乳歯の根を吸収して其

物を喰べるやうにな
ますと、それが爲め
齲齒を起すことにな
ますから食後は必ず
口中を濯ぐやうに習
化を害するばかりでなく、さういふ
食物は齲齒が齒の裏に著き易く、こ
れが齲齒すれば齒を腐蝕にすること
になります。

るのは、齲齒の悪い爲めでありま
すから、齲齒の表裏を規則正しく注
意して磨かなければなりません。

一部分とするのでありますから、若
し乳歯が齲齒になりますと、永久
齒は當然必要な物質を受けることが
出来ませんから、あたりまへよりも
弱い齒となる理屈であります。

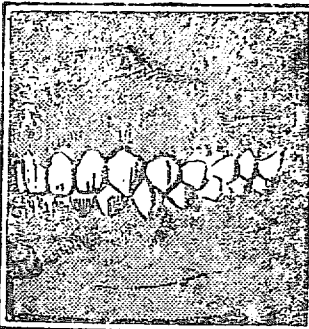
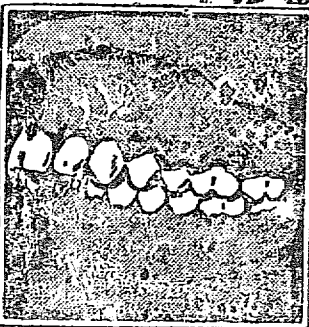
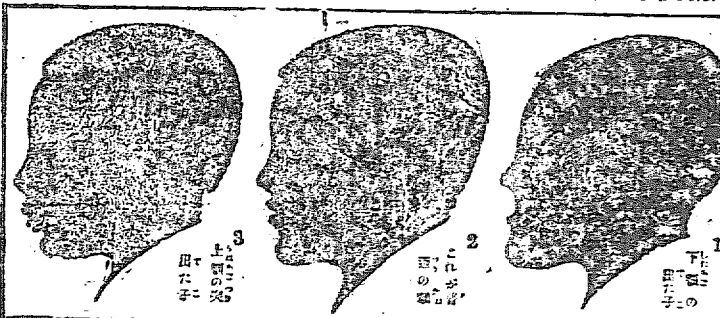
乳歯が發生してゐたり、齲齒と
なつてゐたり、

ニージーランドの兒童幸福事業
社に在りて、キング博士は、二歳
以上の兒童に、

加 西 日 止
の 日 月 年

加 西 日 止
の 日 月 年

分の一の皮をひいて喰べ、それ
 最も簡便に齒の垢垢が出来るこ
 してゐます。かの未開人が嘗て
 眞の草根木皮を食ひ付て喰べた
 ふの、自然歯刷の代用になつ
 たるものと云ふべき。其風俗は
 行はれてゐる所があります。
 ま生れて一年もたつた、毎日
 面を磨くには程にござるより堅に磨
 のでありますから、砂のある歯磨粉
 は、惡影響を與ふる危険がありま
 す。ですから齒磨粉の撰採には餘程
 の注意が肝要であります。
 質のよい齒磨は、齒の爲め最も効果
 のあるもので、齒の最大の價値
 は、完全な齒刷と共に使用されて
 磨けて居ない、永久齒は不正とな
 りますから、齒兩親は早くから此大
 事な一生の機關(齒)に注意を拂つ
 て、お子さまの齒を起したり、磨
 齒を病んだり、又は八重齒や醜い齒
 を持たないやうに、時々齒醫を請
 ねる事も、結果長良い齒磨と齒刷子
 を使ふ事を怠つてはなりません。



磨石 歯 二 オ イ ラ

唯だ攻撃の一途耳

講和提議當時に於ける三國代表者の決議
大英、フランス、イタリアの三國代表者は、講和提議當時に於ける決議を、三國代表者の決議と見做す。三國代表者は、講和提議當時に於ける決議を、三國代表者の決議と見做す。三國代表者は、講和提議當時に於ける決議を、三國代表者の決議と見做す。

軍國主義を滅絶せん

軍國主義を滅絶せん
軍國主義を滅絶せん。軍國主義を滅絶せん。軍國主義を滅絶せん。軍國主義を滅絶せん。軍國主義を滅絶せん。

大統領英外相會見

大統領英外相會見
大統領英外相會見。大統領英外相會見。大統領英外相會見。大統領英外相會見。大統領英外相會見。

英軍奮進陣地占領

英軍奮進陣地占領
英軍奮進陣地占領。英軍奮進陣地占領。英軍奮進陣地占領。英軍奮進陣地占領。英軍奮進陣地占領。

ウルクアイ國動員

ウルクアイ國動員
ウルクアイ國動員。ウルクアイ國動員。ウルクアイ國動員。ウルクアイ國動員。ウルクアイ國動員。

定例閣議内容

定例閣議内容
定例閣議内容。定例閣議内容。定例閣議内容。定例閣議内容。定例閣議内容。

議會召集決定

議會召集決定
議會召集決定。議會召集決定。議會召集決定。議會召集決定。議會召集決定。

對敵禁令内閣

對敵禁令内閣
對敵禁令内閣。對敵禁令内閣。對敵禁令内閣。對敵禁令内閣。對敵禁令内閣。

鐵道公債内定

鐵道公債内定
鐵道公債内定。鐵道公債内定。鐵道公債内定。鐵道公債内定。鐵道公債内定。

對敵禁令内閣

對敵禁令内閣
對敵禁令内閣。對敵禁令内閣。對敵禁令内閣。對敵禁令内閣。對敵禁令内閣。

鐵道公債内定

鐵道公債内定
鐵道公債内定。鐵道公債内定。鐵道公債内定。鐵道公債内定。鐵道公債内定。

若松市不信任

若松市不信任
若松市不信任。若松市不信任。若松市不信任。若松市不信任。若松市不信任。

國語普及機關

國語普及機關
國語普及機關。國語普及機關。國語普及機關。國語普及機關。國語普及機關。

御慰問使著書

御慰問使著書
御慰問使著書。御慰問使著書。御慰問使著書。御慰問使著書。御慰問使著書。

辭令

辭令
辭令。辭令。辭令。辭令。辭令。

支那通商

支那通商
支那通商。支那通商。支那通商。支那通商。支那通商。

西湖の春

西湖の春
西湖の春。西湖の春。西湖の春。西湖の春。西湖の春。

御慰問使著書

御慰問使著書
御慰問使著書。御慰問使著書。御慰問使著書。御慰問使著書。御慰問使著書。

鮮鐵荷動状況

鮮鐵荷動状況
鮮鐵荷動状況。鮮鐵荷動状況。鮮鐵荷動状況。鮮鐵荷動状況。鮮鐵荷動状況。

兩法學博士入京

兩法學博士入京
兩法學博士入京。兩法學博士入京。兩法學博士入京。兩法學博士入京。兩法學博士入京。

村上文學博士著書

村上文學博士著書
村上文學博士著書。村上文學博士著書。村上文學博士著書。村上文學博士著書。村上文學博士著書。

兩法學博士入京

兩法學博士入京
兩法學博士入京。兩法學博士入京。兩法學博士入京。兩法學博士入京。兩法學博士入京。

村上文學博士著書

村上文學博士著書
村上文學博士著書。村上文學博士著書。村上文學博士著書。村上文學博士著書。村上文學博士著書。

兩法學博士入京

兩法學博士入京
兩法學博士入京。兩法學博士入京。兩法學博士入京。兩法學博士入京。兩法學博士入京。

村上文學博士著書

村上文學博士著書
村上文學博士著書。村上文學博士著書。村上文學博士著書。村上文學博士著書。村上文學博士著書。

兩法學博士入京

兩法學博士入京
兩法學博士入京。兩法學博士入京。兩法學博士入京。兩法學博士入京。兩法學博士入京。

村上文學博士著書

村上文學博士著書
村上文學博士著書。村上文學博士著書。村上文學博士著書。村上文學博士著書。村上文學博士著書。

女子の本分

女子の本分
女子の本分。女子の本分。女子の本分。女子の本分。女子の本分。

料理の出来ぬは女一生の損

料理の出来ぬは女一生の損
料理の出来ぬは女一生の損。料理の出来ぬは女一生の損。料理の出来ぬは女一生の損。料理の出来ぬは女一生の損。料理の出来ぬは女一生の損。

禮法を知りぬは女一生の耻

禮法を知りぬは女一生の耻
禮法を知りぬは女一生の耻。禮法を知りぬは女一生の耻。禮法を知りぬは女一生の耻。禮法を知りぬは女一生の耻。禮法を知りぬは女一生の耻。

一舉兩得の妙案

一舉兩得の妙案
一舉兩得の妙案。一舉兩得の妙案。一舉兩得の妙案。一舉兩得の妙案。一舉兩得の妙案。

和洋菓子科

和洋菓子科
和洋菓子科。和洋菓子科。和洋菓子科。和洋菓子科。和洋菓子科。

漬物

漬物
漬物。漬物。漬物。漬物。漬物。

禮作法

禮作法
禮作法。禮作法。禮作法。禮作法。禮作法。

日本料理科

日本料理科
日本料理科。日本料理科。日本料理科。日本料理科。日本料理科。

西洋料理科

西洋料理科
西洋料理科。西洋料理科。西洋料理科。西洋料理科。西洋料理科。

支那料理科

支那料理科
支那料理科。支那料理科。支那料理科。支那料理科。支那料理科。

入會の手続

入會の手続
入會の手続。入會の手続。入會の手続。入會の手続。入會の手続。

五大特典有り

五大特典有り
五大特典有り。五大特典有り。五大特典有り。五大特典有り。五大特典有り。

東京本郷元町一ノ三

東京本郷元町一ノ三
東京本郷元町一ノ三。東京本郷元町一ノ三。東京本郷元町一ノ三。東京本郷元町一ノ三。東京本郷元町一ノ三。

東京割烹講習會

東京割烹講習會
東京割烹講習會。東京割烹講習會。東京割烹講習會。東京割烹講習會。東京割烹講習會。

支那料理科

支那料理科
支那料理科。支那料理科。支那料理科。支那料理科。支那料理科。

入會の手続

入會の手続
入會の手続。入會の手続。入會の手続。入會の手続。入會の手続。

五大特典有り

五大特典有り
五大特典有り。五大特典有り。五大特典有り。五大特典有り。五大特典有り。

東京本郷元町一ノ三

東京本郷元町一ノ三
東京本郷元町一ノ三。東京本郷元町一ノ三。東京本郷元町一ノ三。東京本郷元町一ノ三。東京本郷元町一ノ三。

東京割烹講習會

東京割烹講習會
東京割烹講習會。東京割烹講習會。東京割烹講習會。東京割烹講習會。東京割烹講習會。

支那料理科

支那料理科
支那料理科。支那料理科。支那料理科。支那料理科。支那料理科。

入會の手続

入會の手続
入會の手続。入會の手続。入會の手続。入會の手続。入會の手続。

五大特典有り

五大特典有り
五大特典有り。五大特典有り。五大特典有り。五大特典有り。五大特典有り。

東京本郷元町一ノ三

東京本郷元町一ノ三
東京本郷元町一ノ三。東京本郷元町一ノ三。東京本郷元町一ノ三。東京本郷元町一ノ三。東京本郷元町一ノ三。

東京割烹講習會

東京割烹講習會
東京割烹講習會。東京割烹講習會。東京割烹講習會。東京割烹講習會。東京割烹講習會。

支那料理科

支那料理科
支那料理科。支那料理科。支那料理科。支那料理科。支那料理科。

入會の手続

入會の手続
入會の手続。入會の手続。入會の手続。入會の手続。入會の手続。

五大特典有り

五大特典有り
五大特典有り。五大特典有り。五大特典有り。五大特典有り。五大特典有り。



法主には、朝鮮の風物に 痛く感興を催しつ

釜山別院に於ける親教、歸敬式
眼に觸るる物何れも俳句の取材

昨(廿四)日午前八時、法主大光親王は、朝鮮の風物に痛く感興を催し、釜山別院に於ける親教、歸敬式に出席された。法主は、朝鮮の風物に痛く感興を催し、釜山別院に於ける親教、歸敬式に出席された。法主は、朝鮮の風物に痛く感興を催し、釜山別院に於ける親教、歸敬式に出席された。

法主入京

今廿五日朝
東本願寺法主大光親王は、廿五日朝、東本願寺に於ける親教、歸敬式に出席された。法主は、朝鮮の風物に痛く感興を催し、釜山別院に於ける親教、歸敬式に出席された。法主は、朝鮮の風物に痛く感興を催し、釜山別院に於ける親教、歸敬式に出席された。

準備成れる東本願寺 客殿奥の間に珍什古書飾る

大光親王法主を迎へる爲に、東本願寺は、客殿奥の間に珍什古書を飾る。大光親王法主を迎へる爲に、東本願寺は、客殿奥の間に珍什古書を飾る。大光親王法主を迎へる爲に、東本願寺は、客殿奥の間に珍什古書を飾る。

土砂崩壊して 四人死に

去る十六日午前十一時、東本願寺境内で土砂崩壊が発生し、四人が死亡した。土砂崩壊が発生し、四人が死亡した。土砂崩壊が発生し、四人が死亡した。

一才の奥の手 市内商店荒し

市内の商店は、一才の奥の手で荒れ果てた。市内の商店は、一才の奥の手で荒れ果てた。市内の商店は、一才の奥の手で荒れ果てた。

荷車を轆いて 盗み歩く

荷車を轆いて盗み歩く。荷車を轆いて盗み歩く。荷車を轆いて盗み歩く。

観櫻列車運轉

乗客休憩所の設備。乗客休憩所の設備。乗客休憩所の設備。

釜山天満宮の大祭

釜山天満宮の大祭。釜山天満宮の大祭。釜山天満宮の大祭。

苦力

苦力。苦力。苦力。

益裁陳列會

益裁陳列會。益裁陳列會。益裁陳列會。

久枝肛門病専門醫院

久枝肛門病専門醫院。久枝肛門病専門醫院。久枝肛門病専門醫院。

休業廣告

休業廣告。休業廣告。休業廣告。

朝鮮商業銀行

朝鮮商業銀行。朝鮮商業銀行。朝鮮商業銀行。

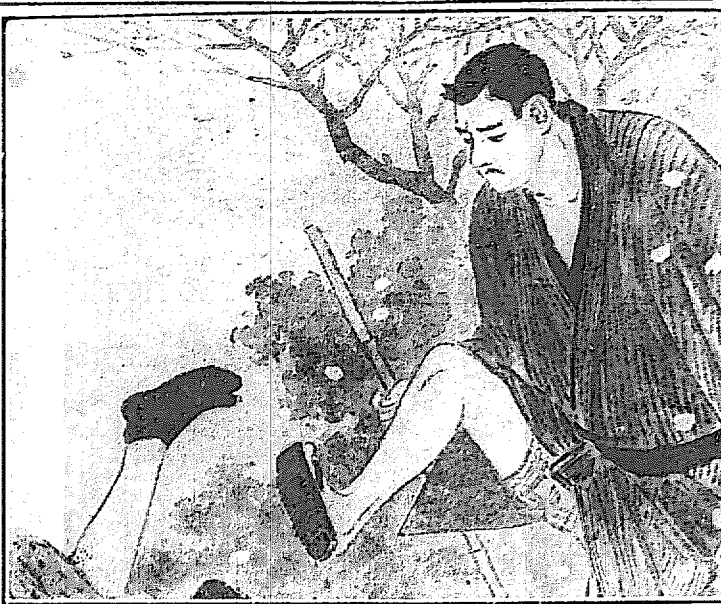
オリヂナル

オリヂナル。オリヂナル。オリヂナル。

小林 躑月 作 武内 桂舟 書

葉櫻の陰、二十八の六

「先生、御立腹になるんですか貴方は？」私の手なんか握つて、付うなさるお了簡ですね。」
塚本は、不氣に面も嫉しさうな容子で、幸三郎の手を振り拂つた。
「君、縁談から談談で好いけれども物は太抵に言ふとて貰はんと、困る。」
幸三郎は、例の神經的の眼をきらりと光らせて眠んだ。
「決して感傷ぢやないんです。先生と新興様との縁が、怎樣にも縁があらさうに思はれたから、思はれた花見宴の會合と來ては、窃聞き爲る方の人間だつて、萬更氣の揉めない」と云ふ等はありませんからね。それこそですね、先生の前ですけれども、私一個の醜態とか、惡計があるとか云ふのぢやないの、貴方が然う御立腹なさるなら極内で貴方に尤も話を申しときますがね、實は、内のどの御親様も、母方は先生と新興様との縁は、尋常一様の縁でないといふ云ふ處は、ちやんと悪い眼で眠んでお仕遊ばすに違ひないんです。その尊厳にはけり、此の塚本にですね、乃公の留に



目に掛けやう。」
「ハッ、ハハ、證明を立てて見せる
と仰有るんですか先生。そりや何方
でも宜う御座いますすが、私がこの
お使を勧めるのは眞平御免ですね。」
「では君は、好い加減な事を言つて
人の名譽を毀れやうと爲るんですか。」
「然うぢや御座いませんよ、先生、
私も男で生れた甲斐には、彼あ云
ふ美しい奥様から先生のやうに可愛
がられて見たいと思つて、つい誤ま
しとて嫉ましたの餘りに……ね、内
所に爲さく事までお能くして下さ
した次第ですア。いや、お氣に關り
東京金町二丁目産婆屋田習代
ましたら、是位でとう何にも申さず
に引返るて致しませうか。」
澤本は、胸突ひながら、竹笥を提
げて、空を鳴きながら花見堂を降り
省那勝源連徳千右英雲勢振振
如木江原善兵衛
龍身涌水玉瞬間。石丈傍觀表是音遠
笛風前吹入破。雙仙帶月下底雲。
椿堂 高井 春美齋
韓約含情憶故人。梅花樹底見天眞。
言歸月返吟時雪。苦愛寒香可耐春。
小井 高田 長豐東京
營宿野梅誰作伴。柳桃枝上縷窗窺。
香士骨不先請。無嫌雪相斗清人。
半狂 森下 茂豊江注
山中翠曉有高人。仙骨飄飄不世塵。
影冠光香滿地。春風動處不生塵。
石城 村上 證内體
玉雪無污著俗塵。清寒空得水之痕。
凌霜零汝微欒。正是儼然君子人。
華陽 栗原 悅人地
高調幽姿花有神。暗香疎影總無塵。
往十管壁空傳。笑付松風誦道人。
學蘭 松田 甲代代
桐林間雪鶴鳴時。看到梅花心自春。
似暖氣滿天地。清香散出白衣民。
魯石 成田 碩人豐
萬木家中點古香。清香襲襲玉顏紅。
家彩粉相映日。焚煙陰靜道痕痕。

かいつた。日は何時か暮れに迫つて植込みの邊りには、漸く夕陽の色が深くなり初めて来たのである。

『マッ、待ち給へ原本君。』

幸三郎は、彼の言草が、愚癡にも人をを裏通して居るので、此の儘には赦しがたき奴と思つたのであらう。降りかゝつた彼の頭首を掴んで、思はず二三步引戻した。

「マッ、何を爲るんで先生、失禮」

端午節巻柏餅賣出し
京城明治町通り 富森一餅

ながら貴方の如き、瘦せ細つた小腕で此の塚本をせしめやうと思つたつて無恥のこつてする。言ふ事があるなら、口でお言ひなさい。

「口で言ふから、暫時待てと言ふんぢやないか。」

「ぢや、手出しを爲ると云ふ法がありませんか。」

元來が眞の好くない渡り者の連轉手である。口には割合に變か言つて居ながら、幸三郎の隙を計つて反對に弱腰の邊りをうちと云ふほど

霜雪赤苔無處。粧出群芳自有精神。比浪仙沽酒老。醉吟似伴一枝春。

學堂 安里 月堂

不著俗塵清若仙。捷徑窮寧節節全。東風吹動梅斜影。脈脈薰人香暗烟。

春風 安村 雲肥

邊幅老梅綠影斜。清香似郁吐寒枝。故公遺愛播天下。翻雪芳華誇白梅。

紫經 篠島 定初

叢林移植帶香魂。神史莊嚴賦海棠。約郁香飄衆人福。絳梅花映白梅花。

牧雪 圓山 大嶺堂

誰搖玉佩立黃鶯。綽約幽姿帶冷香。五日名花新吐蕊。東原上樹雪初光。

空齋 高橋 衍叔

幾竹纓纓帶露鮮。名枝枝花曉蕊生。光人情世態年年改。獨有冰肌千歲香。

白隱 西田 明如賀

春風忽到惹輕塵。鎖放流香凝紫脣。脂粉石冰天地動。冰現一朵含霜蕊。

鳥石 永井 道忠應

孤芳劫難離群芳。獨立寒溪寒淡映。閑道管公曾愛賞。英雄萬古古今香。

梅溪 古城 梅溪齋後

提梅樹林古廟影。削削竹瀾後松隔人。欽道德千秋仰。花帶餘香。隱居。

聖山 一帶湖 陸前

竹外橫斜月映斜。水邊隱約玉生光。綠然白雪能過白。主竟觀風觀柳香。

兆英 支那 王相

[illegible]

出世藏傳

お化粧を迫すお七のなまこ
お七のクミン
お化粧の順
クミン
白粉
洗粉
お七

生肌まで白くなる……自然美白粉

クラフ水白粉

をお付けになり牡丹餅までお送ばしになれば高價で美しい淑女式の化粧箱が出来ます又た
今までは軽で飾り面の化粧箱が身せりをお飾りになり其へへ化粧箱 白白粉をお付
けになつても手紙に化粧箱が出来たのであります(春迎のお化粧は汗の願降で

○大連行、太沽(天津)牛莊行
三河砂丸 四月二日正午
高砂丸 五月十二日正午
三河丸 五月十二日正午
電報局 丁川海船町
電話 四

わきが

●音尾博士の創見



ある薬

一寸將人ダマシの寶珠にて物無くお困り
人も彼是さ迷わすアセの出ぬ今の二問
是迄無き
るあり

しき御身になられよ並びの禮狀益々
ハガキで申込めば直に説明書無代で
東京府下湊橋町 東京博愛連
柏木百武治彦也

田付質
商品擔保便利取
迎歡

芝罘、大連行 烟台福登府 京台船
 四月 日午後入
 四月 日正午出
 伏見丸
 芝罘、大連行 烟台福登府 京台船
 四月 日午後入
 四月 日正午出
 伏見丸

本町四丁目電話一七三三
仁川代理店 野口商會
春日(電話二四四七番)
元山代理店 山口岡通
南大門(電話二六八二〇)七

尼崎汽船出帆
群山、木浦、釜山、下關、神阪行
○大 有 丸
五月二日午後四時出帆

○神
○代吉丸
○四月三十日後四時出
○電話五十九番
○品杉面滑

門司 神戶、大阪行
○和歌浦丸 五月七日午後五時出
○立神丸 四月廿六日午後五時出
元山、清津、浦鹽行
○神戶、大阪行 五月十七日午後十時出

元山、西湖、新湍、城津、清津行
○第三零平丸 四月 日後六時出
四司、字品、神戶、大阪行
○第三零平丸 四月 日後六時出

○天眞丸 每月二日廿六日 駛出
釜山港埋立新町 本船販賣店 大池回漕

大坂商船出帆
○外航所隨航路 海洋航路を除く、前送船御領船の時15分引を以て、速行力付及止候
◎昨旦、木河、釜山開行、利臨行
○汕頭丸 四月廿八日 午後五時出帆
○須磨丸 五月五日
○門司、神戸、大坂行

◎釜山、横濱行
 ×漳州丸 五月三日後二時出船
 ◎本浦、釜山、歸順、嶺の浦、長崎行
 ×安東丸 五月二日午後二時出船

◎須摩丸	◎汕頭丸	◎潮州丸	◎汕頭丸
四月	五月十日	四月廿九日	四月廿九日
午後二時出	午後二時出	午後二時出	午後二時出

安東丸	四月廿七日 午後二時出帆
大連直航	四月廿九日 正午出帆
安東丸	五月十五日

宮島丸 五月廿九 後十二時出
治津丸(元山半帆)
安平丸 五月十一日 亥十二時出
上、琴鹽、打孫丸(大連出帆)
期七、四月 日、前六時出帆

御注意
●外紅鐵道及市滿州鐵道各社と船車の
運路切替貨物化候時船客は本船出帆
約一時間前無貨送迎可致候。X印に一等
客御降り△印は船客御降り

切符發賣所 大阪商船會社仁川支店

切符發賣所 七川京橋通り 電話 七〇八
電話 二六一

朝鮮型船
帆船
本社 電話長一九五番二三番
道會社及社外船と荷物を運送の便あり
支店 出張所 代理店 顧客取扱店に開張
京畿南大門驛前 松原運送店（電話長一
京城府客販支店
五京一 月五廿三

平城丸	四月廿九日	元山發
昌丸	四月廿九日	元山發
威鏡丸	四月廿九日	元山發
黃海丸	五月八日	元山發

門司より釜山各港寄 釜山各港寄 釜山各港寄

元山より古松遊山遊足行	四月 日	元山遊
康威寺遊長前山	四月 日	元山遊
益徳丸 浦項各港寄附船發行	四月廿八日	釜山發
甘浦丸 龍里、浦項各港寄附船發行		

[illegible]

平度 五月四日 元山發
天津 津浦鐵路行海關より天津まで
順天 二日午後二時 水浦發
要領 四月廿六日 水浦發

慶興丸	五月三日	木浦發
各島列島行月三回		
公方丸	四月廿八日	木浦發
各島列島行月三回		
水方丸	三月四日	木浦發

各港經日本流行
宗信丸 五月一日 仁川發
海州他各港經由橫濱流行